



バラ祭り開催にあたって

広島工業大学高等学校
教諭 津丸 俊二

はじめに

「地域に愛される学校」をテーマとして5月14日(土)にバラ祭りが実施されました。



5月になると本校南側フェンス沿いに赤、白、黄、ピンクなど色とりどりにバラの花が咲きほころびます。道行く人や近隣の方々から「いつ見てもきれいですね」「いつも目の保養をさせてもらっています」の言葉を頂戴していました。私も、このバラの花をもっと多くの方々に観賞していただいたらどうだろうかと常々考えていました。今回念願が叶い、第一回広島工業大学高等学校「バラ祭り」を開催することができました。

準備に一年間

昨年度、私は入試広報室を立ち上げるにあたって、総務兼任で入試広報室長を拝命しました。一年間だけの兼任でしたが、この一年間で多くのことを学ばせていただきました。総務の仕事

に追われながらも入試広報の仕事はどう全うするかを考えてみました。中学校との連携、塾との情報交換、さらにはNPO関係などとの繋がりを持つことに重点をおきました。まず、本校をいかに多くの方々に周知出来るかを目標にして計画を立てることにしました。

そこで考えついたのが、近隣だけでなく、知る人ぞ知る本校の咲き乱れたツルバラの美しさを使って何かが出来たのではないかとということでした。

本校のバラの歴史

本校は男子校であるにも関わらず、四季折々至るところで花が咲き、校内にはゴミが落ちていないすばらしい環境の学校であると自負いたします。考えてみれば、このすばらしい美化活動の影響で、子どもたち自身、校内はきれいなものなのだ、ゴミは落とさないものなのだという習慣が自然と身についたものだと思います。

さて、本校のバラの歴史は、30年前に故河本勝利先生が本校に赴任してこられ、花壇にバラの苗木を植えられたことに始まります。土手沿いには桜の苗木を植樹され、教職員も感心させられたものでした。それを山下幸雄先生が受け継がれ、現在のようさらさらすばらしい環境ができあがったのです。

近隣の人とツルバラ

山下先生のバラに対する愛情は大変なもので、一年を通していつも心配りがなされています。その様子はテレビで放映されたり、新聞にも掲載されたり、すっかり有名人になりました。通りか

かる人は気軽に山下先生に声をかけ、カメラで写真を撮りめたり、中にはキリバラを所望する方もおられます。そんな方々にも山下先生は気持ちよく対応されているようです。



地域に愛される学校

「地域に愛される学校」、これは玉田康荘校長が常々申している言葉です。地域に愛される学校とは、どのようなことを実施すれば良いのかを考えてツルバラと結びつけたのです。

学校を開放し、バラの花を学校の外からではなく、内側から見ていただく。そして、少しでも本校の様子を知ってもらおうとしたのです。



拡張される計画

当初は、2日間のバラ祭りを考えていましたが、現有スタッフではとても無理ということで、一日のみの実施にしました。

バラの観賞だけでは、物足りないと思い、以前、中国に旅行したときバラ茶を飲んだ経験から、バラづくしの催しとする計画を立ててみました。

来校された方へのバラ茶の振る舞い、保育所や幼稚園園児を対象としたバラの写生大会、一般の方にはフォトコンテスト、希望の方にはその場でプリントして差し上げるなど内容がだんだんとふくらんできました。

さらに、吹奏楽部の協力による演奏、電気部によるロボットの実演操作など加えたことで、学校としては一大イベントになりました。



多くの協力者

これだけのイベントになったために多くの協力者が必要となりました。学校の教職員はもとより、生徒、PTA委員の方々、近隣の方々の協力をお願いし、本当に多くの協力を得ることができました。中でも、学校の所在する竹末井口町内会長様を始め近隣の方々の協力が大きな支えになりました。

バラ祭り当日

午前10時より開会式のセレモニーから計画通り始めたのですが、10時直前まで来客者が少なく、どうなるかと心配しましたが、時間ちょうどには多くの来



訪者があり賑やかな行事となりました。おおよそであります。来訪者は350名位であったと思われます。

こられた方に、どうしてお知りになられたかと尋ねてみると、ラジオで聞いた、新聞で読んだ、HPで見たと、様々な情報がその要因でありました。

バラ茶の試飲の感想は、おいしかったという一様の感想が返ってきました。



子どもたちのバラの絵は、本校南側フェンス前に設置した椅子などを使って、思い思いにクレヨンで描いてもらいましたが、力強いものや、繊細なもの、アイデアたっぷりなものと様々でした。子どもたちには使ったクレヨンをおみやげと

して持ち帰っていただきました。また、描かれた作品は学校祭で展示させてもらうこととしています。

写生大会終了後は、中庭で電気部によるロボット体験。小さな子どもたちはもちろん大人も身を乗り出して、ロボットの一挙手一投足に声援を送っていました。

最後は吹奏楽部による演奏が行われました。前もって、大人向けや子ども向けの曲目を演奏するように依頼していたのでみなさんは熱心に聞き入っておられました。

全行事が終了後、町内会長様の協力を得ながら写生大会の表彰をすませ、参加された方々にキリバラをおみやげとしました。

まとめ

第一回広島工業大学高等学校バラ祭り開催に際し、協力していただいた方々に感謝の気持ちを申し上げますと共に大きな達成感を感じました。

参加者の方々から、「どうしてもっと早くしなかったの」、「楽しかったよ」、「来年もありますよね」と様々な激励の言葉をいただき、次回開催に向けて大きな責任を感じています。

